

# 議会だより第36号

## 平成25年度 各会計決算を認定

第3回定例議会が8月26日から9月30日までの36日間の会期で開催されました。

この定例議会では、市長から提出された平成25年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか14議案が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、承認、認定されました。このほか、発議案5件が提出され、審議の結果いずれも可決されました。

### 主な議決内容

- いすみ市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について、次の市議会議員一般選挙から定数を18人とすることが可決されました。
- 工事請負契約（いすみ市立古沢小学校校舎棟耐震補強・老朽改修工事）について、大成建設株式会社千葉支店と契約することが可決されました。

## 平成26年第3回定例議会議決結果

議案番号	件名	採決結果
議案第1号	専決処分承認を求めることについて(平成26年度いすみ市一般会計補正予算(第3号))	承認
議案第2号	いすみ市教育支援委員会条例の制定について	可決
議案第3号	いすみ市市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第4号	平成26年度いすみ市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第5号	平成26年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第6号	平成26年度いすみ市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第7号	平成26年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第8号	平成26年度いすみ市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第9号	平成25年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第10号	平成25年度いすみ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第11号	平成25年度いすみ市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第12号	平成25年度いすみ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第13号	平成25年度いすみ市水道事業会計決算の認定について	認定

議案番号	件名	採決結果
議案第14号	工事請負契約について(いすみ市立古沢小学校校舎棟耐震補強・老朽改修工事)	可決
議案第15号	備品の取得について(消防ポンプ自動車)	可決
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成25年度健全化判断比率について	報告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成25年度資金不足比率について	報告
請願第1号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書	採択
陳情第1号	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について(継続審査)	不採択
発議第1号	いすみ市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決
発議第2号	いすみ市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
発議第3号	いすみ市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決
発議第4号	議員の派遣について	可決
発議第5号	建設業従事者のアスベスト問題の早期救済・解決を求める意見書について	可決



# 決算 審査 報告

平成25年度一般会計及び各特別会計決算を審査するため、8名の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、9月17日、18日の2日間にわたり委員会審査を行いました。各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されたかどうかを重点に審査を行い、活発な質疑が行われました。

1. 随意契約においては、関係法令の趣旨を十分に踏まえ、透明性及び公平性の確保を図るとともに、契約事務の更なる適正化が図られるよう強く要望する。

2. まちづくり市民提案事業においては、補助金交付の終了に伴い事業継続できない団体も見うけられるため、事業の廃止も念頭にいれ、今後は、事業採択における評価、採択事業に対する事業評価を検証するとともに、補助金が本事業の目的達成のために有効に活用されるよう事業選定方法等の改善について指摘する。

3. サンライズガーデンプール開設事業においては、施設の老朽化に伴い管理・修繕に係る経費の増大が予想されることから、今後の管理・運営における費用対効果及び利用方法等について協議・検討が図られるよう要望する。

4. 今後の人口減少を考慮に入れ、事業仕分けなどの手

法を通して、ゼロベースからの事務事業の取捨選択と更なる行財政運営の効率化を図るとともに、なお一層の行財政改革が進められるよう要望する。



▲決算審査特別委員会の様子

## 決算審査特別委員会

委員長	田井秀明
副委員長	松崎敏雄
委員	久我司 山口朋子 横山正樹 中村松洋 高梨庸市 飯高米蔵

# Q&A 一般質問 市政をきく

第3回定例議会の一般質問は、8月28日に5名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。

(第3回定例議会の会議録は12月上旬に公開を予定しています。)

岩井豊重議員	医療・介護総合法／市民アンケートの結果から市の対応を求めること
高森和久議員	今後の健全な財政運営のための財源確保／いすみ市定住促進プランも含めた人口増加対策／夷隅川の台風被害等による水害を防ぐ護岸対策／県道の拡幅事業の進捗状況と今後の見通し／市制施行10周年の記念事業の準備室の開設
山口朋子議員	病児、病後児保育／人口増加対策の点から婚活事業の推進／認知症対策／ジェネリック医薬品の普及
久我司議員	地域防災を担う人材の育成／しんぶん赤旗の市庁舎内での勧誘、配布
田井秀明議員	小中一貫校の設置／ひとり親世帯の子ども・子育て支援／観光誘致のための国際化／防犯カメラの設置





**答**  
サービス提供が後退  
しないよう取り組む

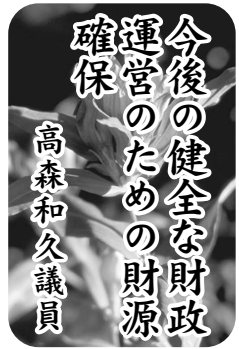
岩井議員 地域における医療

及び介護の総合的な確保を  
推進するための関係法律の  
整備等に関する法律（医療・  
介護総合法）について、市  
としてのようを考え、対  
応されていくか伺いたい。  
健康高齢者支援課長 今年、

6月に「地域における医療  
及び介護の総合的な確保を  
推進する関係法律の整備等  
に関する法律」いわゆる医  
療・介護総合推進法が成立  
しました。高齢化の進展に  
備え、医療や介護の総合的  
な確保を促進するもので、  
介護保険法関連では、地域  
包括ケアシステムの構築と  
費用負担の公平化を目指す  
ものです。  
市では今回の改正を踏まえ、  
現在、策定作業を進めてい  
ます第6期介護保険事業計  
画への反映を行い、制度開

始に向けた準備を進めてい  
かなければなりません。また  
要支援者の訪問介護と通所  
介護の介護予防給付から地  
域支援事業へ移行すること  
一つをとりましても、利用  
者や事業者にも影響が出て  
くるものと思われまます。

市としては、現時点で具  
体的な対応を申し上げるこ  
とは難しいところですが、  
今後、公表される指針を踏  
まえて、制度に関する情報  
の提供や共有を行い、利用  
者・事業者それぞれの立場  
で考え、特に、介護支援を  
必要としている利用者が、  
サービス提供の後退となら  
ないよう配慮して取り組ん  
でいきたいと考えています。



**答**  
いすみ市地域振興対  
策プロジェクト事業を  
継続する

高森議員 自主財源確保のた  
め「道の駅」や「海の駅」  
的なランドマーク施設を設  
置して観光客呼び込み観  
光振興計画を策定する考え  
はないか。  
商工観光課長 「ランドマー  
ク施設を設置して観光客を  
呼び込み」とのことですが、  
市では現在、市内で多くの  
農産物直売所や海産物を販  
売する店舗が多数存在して  
いること、平成25年5月か  
ら観光誘客事業として「港  
の朝市」を実施しているこ  
ともあり、連携と活用が大  
切であると考えています。  
観光振興計画の策定ですが、  
「いすみ市地域振興対策プ  
ロジェクト」を平成24年度  
から平成26年度までを期間  
として実施中です。事業内  
容は、6つのテーマ「市民  
による地域活動の推進・強  
化」、「いすみブランドの  
創出・育成・強化」、「地  
域の魅力の創造と受入体制  
の充実」、「圏央道利用に  
よる交流人口拡大の研究」、  
「地域資源を活用した旅行  
商品の開発」、「情報発信

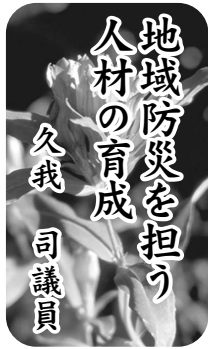
力の強化と効果的な発信」  
であり、地域経済の振興に  
向けた事業の取り組みとな  
っています。当面は、当該  
事業期間は終了するものの  
事業自体は継続していきたく  
いと考えています。

山口議員 昨年の一般質問後、  
平成26年度の施設事業計画  
を平成25年8月に提出した  
との事だが、国の補助事業  
として採択される可能性が  
あるか。  
市長 昨年、国へ施設整備計  
画を提出し、いつ採択され  
るか待っていました。が、よ  
うやく8月11日付で国か  
ら病児・病後児保育施設整  
備事業に係る内示が出され  
国の事業として認められま  
した。  
今後は、これを受け実施  
医療機関と協議を重ねていき



**答**  
国の事業に認められ  
来年10月頃の開設を  
目指す

平成27年10月頃の開設を目  
指そうと考えています。こ  
の医療機関の開設を待ち望  
む多くの保護者がいますので  
ぜひとも早く開設できれば  
と思います。  
市として、子どもを持ち、  
働くお母さんが増える中、  
子育て支援の一環として重  
要な施策と考えているため、  
施設整備費及び開設後の運  
営費に対し、可能な限り支  
援したいと考えています。  
なお、支援については先進  
自治体などを参考に支援の  
あり方を検討し、子育て支  
援の充実した地域づくりを  
進めたいと考えています。



**答**  
少年消防クラブの  
設置について検討する

久我議員 消防団活動への理  
解を深めると共に、市民全  
体の防災意識を高め、将来  
の消防団員等の地域防災の  
担い手を育成するために、

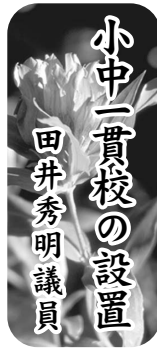
市において子ども消防団などを創設する考えがあるか  
市長 いすみ市消防団は、実

人員923名にて、昼夜を問わず防災活動に従事しているところですが、消防団員の確保については、各地域において非常に難しい問題となっております。市では、防災教育を保育園児や小中学生を対象に行い、防災意識を子供から大人へという

ことで取り組んでいます。少年消防クラブ制度は、少年に対する火災予防思想の普及を目指し、昭和25年12月に現在の総務省消防庁が、各都道府県知事に対し、設置について通達し、県内においても平成26年4月現在で、42団体、6727人の少年消防クラブが活動しており、その編成は子供会単位・学校単位・地域単位等さまざまな編成となっております。

市においても消防団員の確保が、非常に難しい問題となっており、将来の地域防災の担い手の育成や火災予防等の思想を普及することは、大変大切なことで

すので、今後も幼児期からの防災教育や火災予防等の思想普及に努めるとともに、先進地の事例を参考にしながら、少年消防クラブの設置について関係機関と検討をしていきたいと考えています。



**答**  
必要性や方向性について考える

田井議員 子育て世代の間では、教育に対する期待は高いものがあるが、市内に小中一貫校を設置する考えはないか。  
教育長 小中一貫校ですが、

県内では、市原市の加茂学園や鴨川市の長狭学園などが開設されており、いずれも児童数が減少する中で複数の小学校統合に合わせて地域の中学校敷地に併設したものです。

一般的に小中一貫教育のメリットとして、義務教育9年間において一貫性を持たせた独自のカリキュラム

を組み合わせることで学習指導や生活指導などにおいて個々の発達に合わせた円滑な教育活動を行うことが可能となり、中1ギャップの解消の効果などが期待できます。一方、デメリットとしては、子どもたちの人間関係や力関係が固定的に続くこととなるため、しっかりと心のケアや見守りを行うことが必要となります。

また、小・中学校の教員間で十分な研修や意見交換等により共通理解を図ることが重要な課題となります。小中一貫校の設置のあり方についても、一体型、併設型、連携型など様々な形態がありますので、今後、先進校の取り組みを含め幅広く情報収集を行い、一貫教育のメリット・デメリットとあわせて、いすみ市における小中一貫校の必要性や方向性について考えていきたいと思えます。



**総務大臣感謝状受賞**

**岩井豊重議員**

地方議会議員として35年以上在職し、地方自治行政に尽力した功績に対し、10月17日東京都千代田区の麹町会館において贈呈式が行われ、総務大臣から感謝状が贈呈されました。

**市政を知るために  
議会を傍聴しませんか**

**第4回定例議会は12月に開催されます**

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。

傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受付をお願いします。  
なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

**編集後記**

平成22年12月1日から始まった、私たち議員の任期も11月30日をもって任期満了となり、次の一般選挙から議員定数を2人削減し、18人の体制となります。

議会だよりも第29号から私たちが編集委員となり、市民の皆様に見やすく分かりやすい「議会だより」となるよう編集して参りました。

今後も、ご意見、ご提言がありましたらお聞かせください。

**議会だより編集委員会**

- 委員長 元吉 基
- 副委員長 田井秀明
- 委員 横山正樹
- 委員 高森和久
- 委員 山口朋子

編集 議会だより編集委員会  
TEL 0470-6221406  
ホームページアドレス  
<http://www.city.isumi.lg.jp/>  
メールアドレス  
gikai@city.isumi.lg.jp

